

# 変わる、変える、 ごみのしくみ

生活する上で必ず出る「ごみ」のこと。分別や処理の方法など、皆さんはどれくらい知っていますか。今回は、新しくできるごみ処理施設やそれによって変わるごみの搬入方法。そして私たちが今後変えていくべき、ごみの出し方について紹介します。これからのごみのこと、一緒に考えてみませんか。

問合せ先 役場安全安心課  
☎47-5036



## 令和3年4月1日から稼働開始 太田市外三町広域清掃組合クリーンプラザ



太田市細谷町地内に建設中のクリーンプラザ

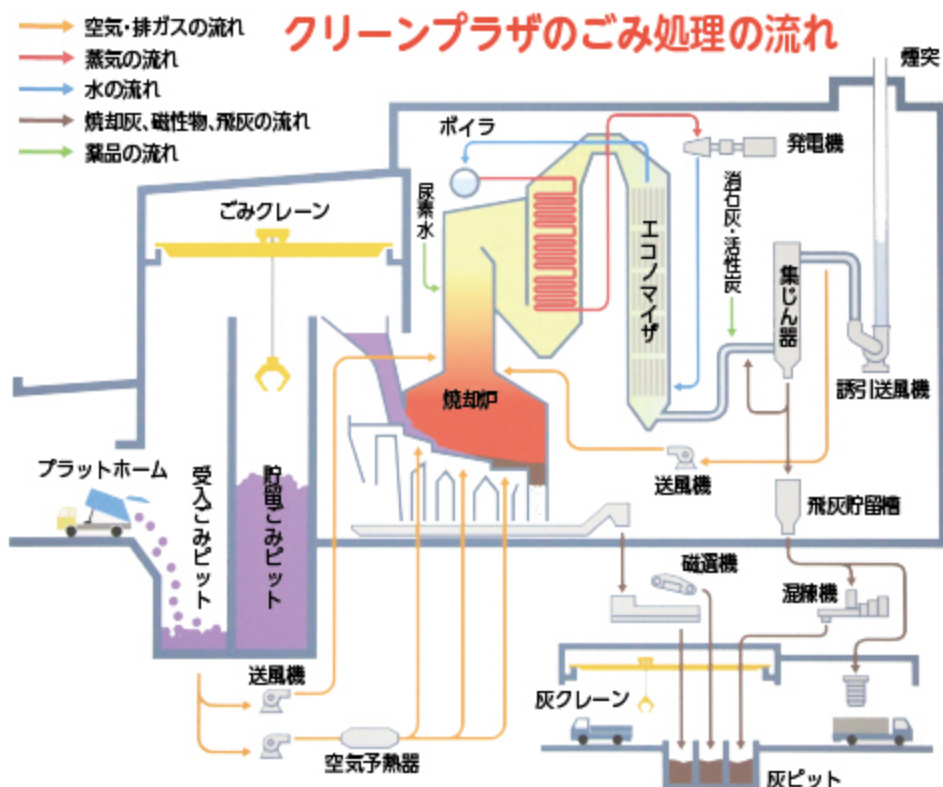
**変わる、ごみ処理施設**  
邑楽町、大泉町、千代田町のごみを焼却処理している「大泉町外二町清掃センター」は現在、稼働から28年が経過し、施設の老朽化が課題となっています。そこで、同じく焼却施設の老朽化の課題を抱える太田市と共に、新しいごみ処理施設の整備を進めてきました。

新しい施設の名称は「太田市外三町広域清掃組合クリーンプラザ（以下、クリーンプラザ）」に決定。太田市清掃センターの敷地内に建設され、令和3年4月1日の稼働開始に向けて準備が進められています。

◀ごみピット内のごみを焼却炉へ運ぶための大型クレーン

## クリーンプラザの 内部を公開

クリーンプラザは邑楽町、大泉町、千代田町、そして太田市の1市3町の燃えるごみを焼却するための施設で、最新の設備が整えられています。一日に330トンのごみを焼却できる能力を持っており、焼却するときに発生する熱を利用して発電を行うこともできます。



ごみを燃焼した後に排出する排ガスは、薬品を用いて無害な状態に処理された後、2本ある煙突を通して大気中に排出されます



**プラットフォーム**  
ごみ収集車で地区内から集められたごみが、ゲートを介してピットに投入されます。ゲート数は自己搬入用を含めて全部で7つ



**ごみピット**  
ごみピットの容積は約10,600㎡で、深さは約30mあります。1市3町全体のごみを約8日分は貯めることができます



**焼却炉**  
ストーカ式という形態の焼却炉。ごみを移動させながら乾燥・燃焼・後燃焼という3段階の工程で燃やし、効率よく処理します



太田市外三町広域清掃組合  
係長代理 横山 渡さん

**災害に強く、自然に優しい  
クリーンなごみ処理施設へ**

クリーンプラザでは、法規制値より厳しい排ガスへの自主規制値を設定し、環境に配慮した施設運用を目指しています。そして、東日本大震災での教訓を基に、耐震性や電力供給の面で、災害に強い設計となっているのが特徴です。

特に優れているのが発電力で、クリーンプラザと隣接するリサイクルプラザの消費電力を自力で賄うことができます。また、余剰電力を売電し、年間約3億8千万円の利益を出せる計算になっています。ごみを処理するだけでなく、新たに資金を生み出すことができる施設と言えます。

しかし、ごみを処理することに莫大な費用が掛かるのは変わりません。費用の削減と、後世に住み良い環境を残していくためにも、これからもごみの分別・減量にご協力ください。



安全安心課から  
お知らせします

# Info

牛乳パック、インクカートリッジの  
回収ボックスを設置しています

町ではごみの減量化を目的に、  
牛乳パックとインクカートリ  
ッジの回収ボックスを設置し  
ています。ごみに出さずに  
回収にご協力ください。

▶設置場所

牛乳パック

邑楽町役場、中央公民館、  
長柄公民館、高島公民館

インクカートリッジ

邑楽町役場、中央公民館



穴開けは火災や事故の原因です  
穴を開けず、使い切って捨てましょう

スプレー缶などのエアゾール缶や簡易型  
ガスこんろ燃料ボンベ(以下、エアゾ  
ール缶など)が原因による火災や事故が  
多発しています。火災や事故の原因で最  
も多いのは「穴あけ」。エアゾール缶な  
どを廃棄するときの「穴あけ」はやめて、  
使い切ってから捨てましょう。

小型家電の「電池・充電電池」は  
「有害・危険ごみ」です。ご注意ください！

小型家電で使用する電池や充電電池(以下、  
電池)。実はこの電池が原因で火災が多発  
しています。絶対に燃えないごみに出さ  
ないでください。電池はリサイクルが可  
能です。適切に出してください。

電池・充電電池の使用製品から電池が

外せる

電池・充電電池は  
有害・危険ごみ  
本体は  
燃えないごみ

外せない

本体ごと  
有害・危険ごみ  
リチウム電池  
使用製品  
電気式シェーバー  
電子たばこ、など



## 容器包装 プラスチックは分別しましょう

商品を入れたり、包んだりするために使われるプ  
ラスチックやビニール、発泡スチロール製のキャ  
ップや袋、容器のことを容器包装プラスチックと言  
います。右のマークがあった場合は分別して資源  
ごみとして出せます。 **目印はこのマーク▶**



容器包装プラスチックとして出せるもの

- ①ボトル・キャップ類
- ②袋・ラップ類
- ③カップ・パック類
- ④トレイ(皿形容器)類
- ⑤緩衝材・ネットなど

※白色トレイは別途回収。

①~⑤を一箱の袋に入れて出せます



これらは全て、プラスチックの資源ごみ(一例です)

容器包装プラスチックの出し方ポイント

- 金属や紙のキャップなどプラスチック以外の異物を取り除く(値札は可)
- 洗って乾かす ○ペットボトルのキャップとラベルは容器包装プラスチック
- 透明または半透明のビニール袋にまとめて、資源ごみとして出す

## Q&A

### Q プラスチックはなぜ分けるの？

A プラスチックは分別して回収すれば再利用できる資  
源となります。しかし分別されずにごみとして、その  
まま燃やされてしまうと焼却炉が劣化する原因になりま  
す。焼却炉が劣化すると燃焼効率が下がってしまい、補修費  
用が必要になる場合があります。将来の負担を増やさない  
ためにも、プラスチックの分別をするようにしましょう。



ごみの出し方について、詳しくは町が配布している「ごみの出し方」ポスターを確認してください。役場安全安心課で配布しています。令和3年度分は3月中旬に配布予定です

# 令和3年4月1日からの ごみの出し方

### ごみステーションに出す場合



出せるゴミの種類は今までと同じです。  
大きなごみ(長辺が60cmを超える)や大量のごみ  
を出す場合は各施設へ自己搬入してください。

出せるごみの種類

- 燃えるごみステーション…… 燃えるごみ 草・剪定枝
- 燃えないごみステーション… 燃えないごみ・資源ごみ

### 施設へ自己搬入する場合



#### 大泉町外二町清掃センター

料金:無料(当面の間)

自己搬入された粗大ごみを処理  
施設に搬出する中継施設に変わ  
ります。自己搬入できるのは粗大  
ごみのみです。

出せるごみの種類

- 燃える粗大ごみ: カーペット、ソファ、クローゼットなど
- 燃えない粗大ごみ: ベッド、ストーブ、ゴルフバッグなど

New

#### 太田市外三町クリーンプラザ

料金:10kgあたり130円

出せるごみの種類

- 燃えるごみ 燃える粗大ごみ

#### 太田市外三町リサイクルプラザ

料金:10kgあたり130円(資源ごみは無料)

出せるごみの種類

- 燃えないごみ・資源ごみ 燃えない粗大ごみ

#### 町委託先のリサイクル施設

※令和2年度は幹グリーンマテリアル。

料金:無料

草・剪定枝をリサイクル施設に自  
己搬入する場合は、事前に役場安  
全安心課へ連絡が必要です。

出せるごみの種類

- 草・剪定枝
- ※出せるのは本人が伐採した草・剪定枝のみ。業者などに伐採を依頼したものは搬入できません。

自己搬入をする場合は  
事前に役場に連絡を

役場安全安心課

主査 大手 正伸さん



家庭からごみを出すときは、各地区の  
ごみステーションに持って行く場合と、  
各施設に自己搬入する場合の2通りの方  
法があります。クリーンプラザの稼働に  
より、来年度からごみの出し方が変わ  
ります。施設によって出せるごみの種類・料  
金が異なりますのでご注意ください。

# 変わる、変える、いまの ごみの出し方



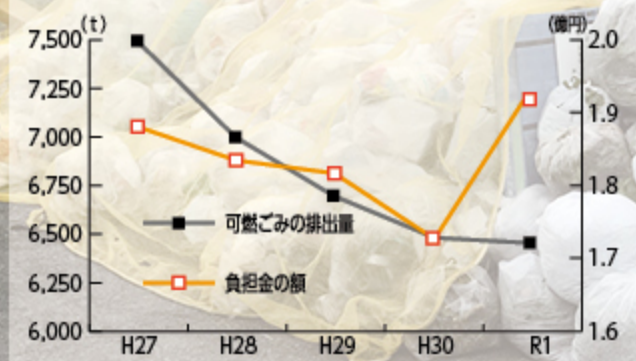
# 変わる、変える、しみの汗 変える、変える、しみの汗 変える、変える、しみの汗

町のごみは今どうなっているでしょうか。ごみの現状を知り、変えていくべきごみの出し方を考えていきたいと思います。

ごみの処理にはお金が必要が増えれば負担も増える

令和元年度、町のごみ処理にかかった費用は約1億9千万円。その内、燃えるごみの処理にかかった費用は約1億6千万円でした。一世帯当たりで計算すると、年間約1万6千円を各世帯で負担していることとなります。

過去5年間の可燃ごみの排出量と負担金額



## インタビュー Interview 生活環境委員 Living Environment

町の各行政区には、地区のごみのことや環境のこと、住みよい町を守るための、生活環境委員がいます。そんな生活環境委員に、ごみ回収の様子や各地区での取り組みについて聞きました。



生活環境委員  
廣瀬裕さん (瀬新田・14区)

**地域で取り組む分別回収 不明なことは生活環境委員へ**

14区では資源ごみの回収日には当番と生活環境委員が立ち会い、ごみ回収のサポートをしています。当番以外にも他の役員の方が手伝いで来てくれていて、地域が一丸となってごみの分別に取り組んでいます。多くの人が分別に協力してくれていますが、まれに間違えて出されていることもあります。ごみの出し方をもう一度確認してみ、分からないことがあれば、各行政区の生活環境委員に気軽にお尋ねください。



## 地域のごみの現状を聞いた

**混ぜればごみ、分ければ資源 住民全員が正しく理解を**

6区ではごみ出しの日には地区内のごみ置き場を巡回して、決められたごみ以外が出されていないか、不法投棄が無いかなどのパトロールをしています。地区内には外国の人も住んでいるので、ごみの出し方を知ってもらうための啓蒙活動にも取り組んでいます。翻訳機を活用し、ごみの出し方について外国語に訳したチラシを作って配布しています。ルールが守られていないごみ出しが散見されていましたが、地道に活動を続けていくうちに、少しずつ改善が見られるようになってきています。

住民全員がごみの出し方を正しく理解することが必要です。また、各家庭でごみ出しのルールを決めておくことも大切になります。家族でごみのごみをよく話し合い、まずは各家庭からごみの分別を進めていきたいと思います。



生活環境委員  
白石崇さん (十三坊塚・6区)

## これからのために 私たちにできること

**減量のコツは4R 限りある資源を大切に**

「ごみの削減に一番有効なのは、ごみを出さないことです。たくさんのもものが簡単に手に入り、すぐに捨てられてしまう現代においてこそ、減らす(リデュース)、繰り返し使う(リユース)、再資源化する(リサイクル)の3Rに、不要なものも含まれない(リフューズ)を加えた4Rの考え方を意識していくことが重要です。地球上の限りある資源を大切に使うことを考えていきたいと思います。



**ごみ出しはルールを守って 正しく分別を**

「ごみ出し方にはルールがあります。決められた時間や場所をしっかりと守り、正しく分別をしましょう。私たち一人一人がルールを守ることで、無駄な負担を減らし、効率良くごみを処理することができます。」

## 町のごみ排出量トップ3

町のごみの排出量を増加させている原因とは……。排出量が多いごみの上位3つを紹介します。

### 1位 草・剪定枝

多くがごみステーションに燃えるごみとして出されています。切ったまま、刈ったままの状態だと水分を多く含んでいて、ごみの排出量を大きく増加させています。



草・剪定枝は町が委託しているリサイクル業者に出しましょう。それらは加工され、燃料や肥料として再利用されます。ごみステーションに出す場合は、2、3日干して水分を飛ばしてから出してください。

### 2位 雑紙

新聞・雑誌・段ボール以外の紙は多くが分別されず燃えるごみとして出されています。



紙の芯、菓子箱、本、ティッシュ箱など

紙は貴重な資源です。分別して資源ごみとして出しましょう。紙ごみをリサイクルすると、処分費の削減に加え、紙の売上により処理費用の大きな削減につながります。

### 3位 生ごみ

生ごみの多くは水分を含んでいて、ごみの総排出量を大きく増加させています。また、臭いが強いので、カラスなどにごみを散乱させられる原因にもなっています。

紙袋にまとめて入れておけば、資源ごみの日にそのまま出すことができます

生ごみは水分をよく切ってから出しましょう。コンポスターや生ごみ処理機を使用することで、堆肥として再利用できます。生ごみ処理機を購入する場合は、補助金が利用できます。詳しくは役場安全安心課へお問い合わせください。

**!** 国の法律や群馬県の条例により、自宅などでごみを燃やすことは原則禁止されています。